

# ざだんかい

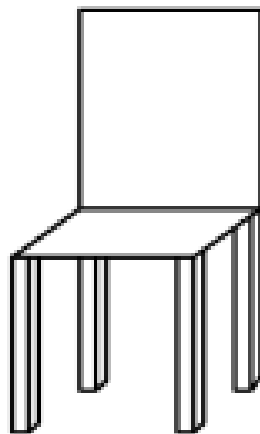
～わたしたちのふくし、これからのふくし～

Vol.6

平成 28 年 8 月 12 日(金)

16 : 45 ~ 19 : 30

@ 船橋中央公民館



# 本日の問い

## 津久井やまゆり園のこと

---

### げすと

又村 あおいさん（全国手をつなぐ育成会「手をつなぐ」編集委員）

熊岡 耕一さん（社会福祉法人みずき福祉会理事）

鈴木 美由紀さん（野田芽吹学園施設長）

渋谷 茂さん（長生ひなたセンター長）

### しかい しんこう

嶋田 竜太（誠光園）

喜本 由美子（NPO法人ラフト）

## 本日のながれ

- 16：30～ 受付
- 16：45～ はじまり  
ざだんかい恒例 橋本諭さんによる余興 (テーマ：初心に帰ります)
- 16：55～ グループごとになるために、各自で椅子を動かしてください。  
《ちいさくざだんかい》(60分)
- 17：55～ 又村さんのおはなし (15分)
- 18：10～ 小休憩 (10分)  
椅子を元の位置に戻してください。
- 18：20～ 《みんなでざだんかい》(50分)
- 19：10～ げすとの感想 (20分)
- 19：30 おわり  
※お手数ですが、各自椅子を片付けてからお帰り or 懇親会会場へ移動してください。
- 20：00～22：00 懇親会  
会場：屋上ビアガーデン 西武船橋店  
◎船橋市本町 1-2-1 西武船橋店 9F 屋上庭園  
◎場所がわからない方は、ラフト職員にお尋ねください。

---

### ざだんかいとは。

○「ふくし」という共通項だけを持ち、地域も法人も年齢も経験も職種も超えて、さまざまな立場のさまざまな人たちが集まる会のこと。

○教えたり教えられたりでもなくて、ひとつの答えを求めるわけでもなくて、それぞれが誰のためでもなく自らのために過ごすことが目的の会のこと。

○自分たちにとって大切なことを“自分たちの言葉で”語り合い、そして生まれていくものをまた大切にしていける会のこと。

○でも、堅苦しくなくて、ゆるやかに、じんわりとたのしく過ごす会のこと。

## げすと プロフィール&メッセージ

げすと 又村 あおいさん（全国手をつなぐ育成会「手をつなぐ」編集委員）

昭和 48 年生まれ。

平成7年に神奈川県平塚市役所入庁。11 年度から 18 年度まで障害福祉課へ在籍。

神奈川県庁（総合政策課）への出向を経て、企画政策課政策担当に所属。

26 年度に内閣府（障害者施策担当・障害者制度改革担当室）へ出向し、現在は平塚市福祉総務課地域福祉担当所属。

全国手をつなぐ育成会連合会の政策センター委員、（社）日本発達障害福祉連盟の『JLニュース』編集長、「発達障害白書」編集委員、また、厚生労働科学研究費補助金研究「小児在宅医療の推進に関する研究」構成員、国立成育医療研究センター研修講師、内閣府の障害者差別解消法アドバイザーなどをなさっています。

### \*メッセージ

今回は、初めて「ざだんかい」へお招きいただき、ありがとうございます。

でも、正直なところ「ざだんかい」のテーマをどうするか・喜本さんと相談するのは気の重いことでした。当初の予定どおり、又村が比較的得意な福祉制度のことを取り上げる選択肢もありました。しかし、津久井やまゆり園の事件を受けて、それ以外をテーマにすることは考えられませんでした。

尊敬する先輩である熊岡さんや渋沢さんのメッセージが、何度読んでも胸に突き刺さります。やっぱりテーマが重すぎたかも・・と思いつつ、一方で避けることができないテーマなのだと再認識させられます。

きっと、「ざだんかい」でもいろいろな意見が出ることでしょ。やり場のない怒りや喪失感とも無縁ではられないでしょう。しかし、仮にそうだとすると、障がいのある人だっただけでなく、堂々と生きていきたいと思います。

そんな「ざだんかい」になることを期待して、神奈川から東海道線と総武線を乗り継いでお伺いいたします。

げすと 熊岡 耕一さん（社会福祉法人みずき福祉会理事）

1952 年 香川県坂出市生まれ

父は電力会社に勤める技術畑の人で、香川県と愛媛県を転勤で行ったり来たり。そのため、私は小学校中学校高校とそれぞれ2校経験した転校生でした。

その父もすでに他界。

母は生来、心臓が弱く、入院することが多く、父が帰ってくるまでの間3人兄弟で過ごすことが多かったです。

私の心象風景は、夕方の薄暗い中一人でパジャマを着たまま、庭を見て立っている風景です。

そんな母は私が 29 歳の時に亡くなりました。

私は、もともと理科系志望だったが、その大学を落ち、このまま大学受験することに疑問を感じたこと、早く家を出たかったこと、そして東京に行きたかったこと、それらの気持ちから、浪人一年生の時、選んだのは、少し興味を持ち始めていた福祉が学べる当時専修学校だった夜学の上智社会福祉専門学校でした。その学校で取得できる資格は保育資格のみで、私には、取得困難なものでした。

卒業後は、四国に戻って資格のいない知的障害者の施設に勤めることにしていましたが、卒業で

きず、そのまま東京で就職することになりました。

23年間知的障害児入所施設に勤め、7年間成人施設に、そして成人施設の施設長を4年行い、群馬の1年間を経て、船橋のさざんか会にお世話になりました。

ずっと知的障害分野で仕事をし、群馬に行くまで30年間、入所施設で仕事をさせていただきました。そのため入所施設への思い入れは自分では大きいと思っています。

現在、私は社会福祉法人みずき福祉会の理事を行っています。また、知的障害者で高齢になられた方の成年後見の補助人も行ってきます。

2人の息子は知的障害関係の仕事をしており、娘は病院で看護師をしています。

そして、児童施設で同僚でもあった妻は4年前に他界しました。

### \*メッセージ

今回も「ざだんかい」にお呼び頂いてありがとうございます。毎回楽しみにしておりました。

しかし今回のざだんかいへの出席は、少し胸が苦しく感じます。このたび起きた、相模原の事件、友からのメールで知り、亡くなられた方怪我された方の人数を報道で知ったとき、日本で起きたこととは速やかには信じられませんでした。新聞報道やネットニュース、ラジオでの報道など限られた情報の中、「措置入院」「ヒトラー」「障害者は居なくなればいい」「入れ墨」「平成最大の殺人」など、胸を突き刺す言葉が続きます。見ている私の胸はぐちゃぐちゃになりそうです。

今回の事件が起きては、今までの私の話はむなしく感じると思いますが、勇気を出して改めて言う。「私たちの仕事は福祉を实践する事です。福祉とは、利用者も職員も幸せになること。」今回事件を起こした彼は、利用者と同じ時間を共有しながら、このことが学べなかった。もちろん、彼自身にも問題はあったのですが、彼に伝えていく人たち、つまり先輩である私たち、いや私に問題はなかったのだろうか。今回の事件を考えるに、いくつもの、問題が浮かんで来ますが、まず感じたのは、このようなことでした。

亡くなられた方々には心よりご冥福をお祈りします。そして心と身体に大きなキズを負った方々が早くお元気になれることを心よりお祈りします。

そして、「本当に、ごめんなさい、許してって言えないよね。」

### げすと 鈴木 美由紀さん（野田芽吹学園 施設長）

所属 社会福祉法人野田芽吹会 野田芽吹学園

経歴 昭和33年5月18日 千葉県野田市生まれ。

市内の小中学校を卒業後、松戸の女子高に通い、初めてボランティアを体験する。

高2の時、単純に料理を作ることが好きだったため栄養士になることを夢見ていたが、先生に福祉の方が向いていると言われ、福祉の道に行くことにする。

昭和52年 淑徳大学 社会福祉学部社会福祉学科入学

保育士を目指すのが大学2年生の時、同大学研究生となり障害児教育を学ぶ。

昭和56年 野田芽吹学園職員

空きがなかったので、調理員として働く。この間、調理師免許取得

昭和58年 調理員より支援員へ

平成13年 支援員より事務員へ異動

平成15年 事務長 平成19年 施設長

趣味 書道 筆に墨を付けて白い紙に文字を書いているととても幸せな気分になります。

創作料理 コンビニで買った惣菜を自宅の残り物でアレンジし、楽しんでいます。

ピアノ 好きな曲が弾けると楽しいですね。週に1回30分だけレッスンを受けています。  
その他いろいろ..とにかく何かやっていることが好き。

#### \*メッセージ

今回で6回目ということで、ほぼ毎回参加させていただいております。こんな風にいろいろなところから福祉に関心のある人たちが集まって、話を聞いたり、意見を言ったり出来ることは「とってもいいな。」と思っています。

毎回テーマが気になる場所ですが、相模原の事件をみんなで考えるということで、これからの福祉を考えると言うことではとても大切なことだと考えています。

大きな事件でした。テレビを付けると連日、様々な情報が入って来ます。どうして起きてしまったのか、考えることも大切ですが、これからどうすべきか考えることが大切だと思います。障害のある人もない人も共に生きる社会を目指してきたはずです。そんなところから話が出来ればと思います。

げすと 渋沢 茂さん 所属 中核地域生活支援センター長生ひなた

- 1964年12月7日千葉県市川市生まれ。以後、高座渋谷、菊名と転居。幼少時に覚えていることは、幼稚園の卒業式で泣いたこと、小学1年生の終わりにアパートの屋上で夕陽を見たこと。小学4年～中学1年生は新潟市で暮らす。そのため、雪道を転ばないで歩くのは得意。中学2年から千葉県に。バスケットをしたり、ゲボを吐くまで飲んだり、テスト休みにはいつも麻雀をしていた。大学卒業時、バブル期の就職戦線は息苦しくて福祉な生き方をしようと思った。
- 知的障害を持った子の入所施設で10年弱。入所施設の意義と限界を感じた。障害を持った子どもたちと付き合うのは楽しかった。
- 地域支援の仕事を10年弱。地域で暮らす障害を持った方とご家族の暮らしの困難を痛感した。この頃から多くのご家族から教えていただいたことが地域支援の仕事の原点になっている。
- 様々な方と協働することの必要性を感じて中核センターの仕事を始めた。
- 2015年4月からは、生活困窮の方々の自立相談支援センターを始めた。
- 今後の事業展開と生き方について思案中。

\*メッセージ 「神奈川県的事件に思うこと」(事件の夜FBに書いたこと)

早朝に病院の待合室でニュースを見ました。一日そのことを考えていました。

容疑者は、教員を目指してそれが叶わない間に障害を持った方の施設で仕事をしていたそうです。

ある時期から精神の不調をきたして同居していた親とも別居することになったようです。

そして「障害者がいなくなればよかった」と思い、本件に至ったと夕方までのニュースが伝えていました。

容疑者である彼は、施設で障害を持った方と付き合っている時に何をしていたのか、どんなことを思っていたんだろうか。そのことが僕にはとても気になった。

障害を持った人が施設で暮らすこと。それに付き合うことは楽しいことばかりじゃないけど。

でもね。楽しくないこと、辛いこと、思うようにいかないこと、もどかしいこと。そんなことが多い日々の中で。

「○○くんとかわりあった(ような気がする)」ことの喜びとか。

「○○さんと楽しい時間を過ごした」嬉しさとか。

そんな時間が少しでも彼にあったなら「障害者がいなくなればよかった」という思いにはならなかったと思う。

僕も含めてです。福祉の仕事をしている人たちは目の前にいる方たちとどんな風に付き合っている

んだらうか。可愛そうな人?支援すべき人?

一緒に笑ったり、語ったり、喜び合ったり、時には罵りあったりとか。そんなことがとても大事だと思います。そしたら、僕の前の彼や彼女は「障害者」ではなくて、〇〇くんや〇〇さんになっていくから。必ずなっていくから。

施設に鍵をかけるだけでは解決しないんじゃないかと思います。

\*渋沢さんの声に、参加者の伊藤佳世子さん(りべるたす株式会社代表)

歴史に残る残虐な事件にニュースでは警備体制とか色々なことが報道されていました。

たくさん書き込みも読んだけど、どう考えたら分からないまま。でも、渋沢さんの記事はしっくりした。日々私たちが付き合う人々と、一緒にいるための手段として制度や支援というのをつかうこともある。けど、それが目的になってしまうのは危険!今日の一日は誰かと笑えたかな?支援となって笑えなくなっていないかい?

.....  
わたしもうちの職員も目的化しているところがないと否めません。でも少しでも笑える時間もあつたら違つたかなと思います。

在宅福祉とかやっていると施設のことは分からないことも多いですが、今回は事件のあと施設に預ける親の肩身の狭さも感じました。だから施設はダメなんだ、施設に預けたからこんなことになるみたいなお話はかなり辛く聞こえるのではないかと思いました。皆さん色々な事情があるし在宅福祉は足りないです。

## 《主催者より》

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

ざだんかいも、6回目を迎えることができました。げすとには、毎回ご協力頂いている熊岡さん、鈴木さん、渋沢さんに加え、今回は、又村さんもお越しくくださることになりました。

今回のざだんかいのテーマについては、又村さんが来てくださるということで、福祉制度と自分たちの仕事の関係性と向き合えるようなテーマでいこうと考えていましたが、なかなかこれという「問い」が思いつかず、開催日が近付いていました。

そして、あの日。事件は起きました。

事件直後、この事件を次のざだんかいのテーマとすることを、何人かの参加予定者が提案してくださいましたが、その時は、私は頷くことができませんでした。事件から数日経ち、この件について、様々な立場からの様々な意見を目にし耳にする中で、その思いは少しずつ変化していきました。

ゆるやかにじんわりと過ごす「ざだんかい」のテーマとしては、迷いやためらいがないわけではありませんが、やはり又村さんのおっしゃるように、この事件に対して、私たち一人ひとりが当事者として、向き合うことは避けられないのだと思います。私自身、今まで見て見ぬふりをしてきたこと、誤魔化してきたことに、この事件を通して気付かされているのも、また事実です。

今回の事件で犠牲となられた方々のご冥福を心よりお祈りすると共に、お怪我された方々の一刻も早いご回復を願っています。

二度とこのような事件を起こさぬために、そして、我々が今改めて前を向くために、今回のざだんかいが皆様にとって有意義な時間となりますことを、願います。本日は、よろしく願います。

平成 28 年 8 月 12 日

NPO法人ラフト 喜本 由美子

## ざだんかい V o l . 6

～ わたしたちのふくし、これからのふくし ～

### 1 育成会のうごき

事件の発生が深夜（早朝）だったため、朝になってニュースなどで大変な事件が起きてしまったことが判明しました。

全国手をつなぐ育成会連合会（以下、全育連）では、目に余る虐待事案など知的・発達障がいのある人の人権が脅かされるようなことが起きるたび、声明を発表しています。しかし、今回の事件は（虐待や差別がマシなどと言うつもりはまったくありませんが）事象として「戦後最悪の刃物による殺人事件」だったことから、亡くなった方への追悼やケガをした方へのお見舞いは当然のこととして、それ以上どのような声明を出せば良いのか、少なくとも又村には分かりませんでした。

しかし、その後の報道で被疑者の明らかに歪んだ思想などが明らかになったことも踏まえて、全育連をサポートしてくださる弁護士の方がお力添えくださり、時間を置くことなく声明文を公表することとしました。（声明文は以下のとおり）

### 神奈川県立津久井やまゆり園での事件について(声明文)

平成28年7月26日未明、障害者支援施設「神奈川県立津久井やまゆり園」(相模原市緑区、指定管理者・社会福祉法人かながわ共同会)において、施設入所支援を利用する知的障害のある方々が襲われ、19人が命を奪われ、20人が負傷するという未曾有の事件が発生しました。被害に遭われ亡くなられた方々に、衷心よりご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様にはお悔やみ申し上げます。また、怪我をされ治療に当たられている方々の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

抵抗できない障害のある人に次々と襲いかかり死傷させる残忍な行為に私たちは驚愕し、被害にあわれた方々やそのご家族の無念を思い、悲しみと悔しさにただただ心を震わせるばかりです。職員体制の薄い時間帯を突き、抵抗できない知的障害のある人を狙った計画的かつ凶悪残忍な犯行であり、到底許すことはできません。

事件は、当会会員・関係者のみならず、多くの障害のある方やご家族、福祉関係者を不安に陥れ、深く大きな傷を負わせました。このような事件が二度と起きないよう、事件の背景を徹底的に究明することが必要です。

今後、事件対応に関わる皆様には、まずは被害者及び被害者の遺族・家族、同施設に入所されている方々のケアを十分に行ってくださいようお願いいたします。その上で、事件の背景・原因・内容を徹底して調査し、早期に対応することと中長期に対応することを分けて迅速に行いつつ、深く議論をして今後の教訓にしてください。加えて、本事件を風化させないように今後の対応や議論の経過を情報として開示してください。



また、事件で傷ついた被害者やご遺族が少しでも穏やかに過ごせるよう、特に報道関係機関には特段の配慮をお願いします。

事件の容疑者は、障害のある人の命や尊厳を否定するような供述をしていると伝えられています。しかし、私たちの子どもは、どのような障害があっても一人ひとりの命を大切に、懸命に生きています。そして私たち家族は、その一つひとつの歩みを支え、見守っています。事件で無残にも奪われた一つひとつの命は、そうしたかけがえない存在でした。犯行に及んだ者は、自らの行為に正面から向きあい、犯した罪の重大さを認識しなければなりません。

また、国民の皆様には、今回の事件を機に、障害のある人一人ひとりの命の重さに思いを馳せてほしいのです。そして、障害の有る無しで特別視されることなく、お互いに人格と個性を尊重しながら共生する社会づくりに向けて共に歩んでいただきますよう心よりお願い申し上げます。

## 2 障がいのある本人からのうったえ

全育連が声明文を公開したタイミングと前後して、日ごろからメールやメッセージを取り取りしている知的・発達障がいのある本人から、又村に連絡がありました。もちろん、それぞれはお互いのことを知りません。にも関わらず、まるで示し合わせたかのように、同じタイミング、かつ同じような内容のうったえでした。特に印象深いフレーズをご紹介します。(原文ママなので文章のつながりなどはご容赦ください)

- ・相模原方向施設事ビックリしました。私なり朝つらい
- ・その施設泊まり職員さん情報ありません。けどその泊まり職員どうか？
- ・元職員がこんな事件を起こすなんて、とても怖いです。
- ・一番悲しいのは障害者は死んでもらいたいと言う言葉を聞いてとてもショックです。私達、障害者はこれからどうすればいいんだろう
- ・他の支援者や全国の方も犯人と同じ気持ちになったりするのかわ、支援者のことを信じられなくなります。
- ・障害者だって、一生懸命頑張っているのに、その人は、そんなふうで、思っていただね。ざんねんな、気持ちだった。

やはり、言葉によるコミュニケーションが難しい障がいのある人の気持ちを代弁するのは、同じ障がいのある人なのですね。もちろん、一人の意見が全体の意見であるかのように扱ってはなりませんが、多くの当事者が同じことを感じたとき、それは言葉として現れます。今回、そのことがハッキリと分かりました。

## 3 ふたたび、育成会のうごき

これまで全育連は「障がいのある人向け」の声明文などは作成したことがありませんでした。(それはそれで問題なのですが)しかし、障がいのある人からのうったえを読ませていただき、今回だけは何があっても障がいのある人自身に届くようなメッセージが必要だと強く感じました。

そこで、タイミングは少し遅れてしまいましたが、「手をつなぐ」編集担当の方のお力添

えをいただきながら、翌日になって「障害のある人向け」メッセージを公表することになりました。

#### **津久井やまゆり園の事件について(障害のあるみなさんへ)**

**※ 原文にはルビが付されています。また、適切な分かち書きになっています**

**7月26日に、神奈川県にある「津久井やまゆり園」という施設で、障害のある人たち19人が殺される事件が起きました。**

**容疑者として逮捕されたのは、施設で働いていた男性でした。**

**亡くなった方々のご冥福をお祈りするとともに、そのご家族にはお悔やみ申し上げます。**

**また、けがをされた方々が一日でも早く回復されることを願っています。**

**容疑者は、自分で助けを呼べない人たちを次々におそい、傷つけ、命をうばいました。とても残酷で、決して許せません。**

**亡くなった人たちのことを思うと、とても悲しく、悔しい思いです。**

**容疑者は「障害者はいなくなればいい」と話していたそうです。**

**みなさんの中には、そのことで不安を感じる人もたくさんいると思います。**

**そんなときは、身近な人に不安な気持ちを話しましょう。**

**みなさんの家族や友達、仕事の仲間、支援者は、きっと話を聞いてくれます。**

**そして、いつもと同じように毎日を過ごしましょう。**

**不安だからといって、生活のしかたを変える必要はありません。**

**障害のある人もない人も、私たちは一人ひとりが大切な存在です。**

**障害があるからといって誰かに傷つけられたりすることは、あってはなりません。**

**もし誰かが「障害者はいなくなればいい」なんて言っても、**

**私たち家族は全力でみなさんのことを守ります。**

**ですから、安心して、堂々と生きてください。**

結果的に、一般向け・障害のある人向けのいずれも、新聞・テレビなどで繰り返し大きく取り上げられることとなりました。全育連としても、久保会長や田中統括が多くのメディアで取材に応じています。でも、本音をいえば、こんな悲しい事件ではなく、もっと楽しくて前向きな話題で注目されれば良かったのに・・・と思います。

#### **4 関係団体の声明やメッセージ**

今回の事件に対しては、全育連以外にも多くの関係団体が声明やメッセージを公表しました。すべてをご紹介することはできませんし、調べつくしているわけでもありませんが、ご参考までいくつかご紹介いたします。

(関係団体の声明やメッセージ)

【日本自閉症協会】

(一般向け)

**平成28年7月26日未明に障害者支援施設「津久井やまゆり園」で、たくさんのお入所者が殺傷される事件が起きました。**

**お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、ご家族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げます。負**

傷された方々にはお見舞いを申し上げ、一日も早い回復をお祈りいたします。被害にあわれた利用者の方々や御家族の驚愕、無念、苦しみがいかばかりのものであったかを思うと胸がつぶれる思いです。また、直接の被害はなかったものの恐怖や不安の中におられる利用者の方々や御家族、施設スタッフの皆様を思いますとおかけすべき言葉も見当たりません。また、全国の施設に関わる関係者の皆様も同様の状況でおられることとお察し致します。

なぜ、このような事が起こってしまったのか。我々が何かできることはなかったのか、これから何をしていけばいいのか、疑問や後悔、不安や悲しみ、などの衝撃は筆舌に尽くしがたいことです。

今後、事件の真相が明らかになるにしがたい、関係各位で種々の対策が講じられることになると思われますが、正しい理解と合理的な配慮がなされることを願います。

我々日本自閉症協会も全国の会員及び関係各位とも力を合わせ、自閉症をはじめとする発達障害による困難さを抱える方々やその家族の皆さんにとって、よりいっそう安全で住みよい社会になることを目指して活動して参ります。

(自閉症の皆さま、ご家族の皆さま)

※ 原文にはルビが付されています

このたび、障害者支援施設「津久井やまゆり園」で、たくさんの入所者が殺傷される事件が起こりました。

施設に入所や通所をされている自閉症の皆さんは、テレビや新聞・ネットをみて不安だったり、怖かったり、悲しかったり、などのショックを受けておられるとおもいます。自閉症の皆さんは自分の身にもおこるのではないかと、親御さんは我が子も同じ目にあうのではないかと、心配されているかとおもいます。

不安な気持ちをなくすことは難しいかもしれませんが、軽くすることはできます。

安心できる慣れ親しんだ身近な人に、不安や悲しみなどを伝えてください。そして、不安なら事件から少し離れてください。それでも、不安が増す方は専門家に相談してください。

自閉症のみなさん一人一人が大切な存在です。

自閉症のみなさんが生きていくことには大きな意味があります。私たちは皆さんが安全に安心してすごしていける社会になるように努力していますので、みなさんは今までどおりすごしてください。

【知的障害者福祉協会】

平成 28 年 7 月 26 日未明、本会会員施設、神奈川県「津久井やまゆり園」において世間を震撼させる痛ましい事件が起きたことは誠に遺憾であります。

多くの利用者の方が亡くなられ、負傷されましたことに対し、心よりお悔やみを申し上げます。また、負傷された方の一刻も早い回復と、事件現場に居合わせた方々の心的外傷が深くならぬことを願ってやみません。

マスメディア等での情報が錯綜しておりますが、情報収集につきましては冷静な対応をお願い申し上げます。

現在、関東地区会並びに神奈川県協会において情報収集等について努力していただいておりますが、本会といたしましても、当該施設を利用されている方々、ご家族、職員等への支援のあり方について、神奈川県協会と連携を図りつつ対応していきたいと考えております。

なお、事件の詳細は警察によって明らかになるものと思いますが、障がい福祉サービスを利用されている方々の不安が増幅されることのないよう適切な対応に努めていただきますとともに、リスク管理体制の再点検に努めていただくようお願い申し上げます。

【きょうされん】

本日未明、神奈川県相模原市の障害者入所施設で起こった悲惨な事件は、日本各地に大きなショックをもたらしました。とりわけ障害のある当事者や家族、関係者の受けた衝撃、そして不安や悲しみは言葉であらわすことができません。

なにより、犠牲となった障害のある当事者、そのご家族に哀悼の意を表するとともに、負傷した方たちの一日も早い回復を祈ります。ならびに、同施設で事件に遭遇した方たちの心の傷が時間をかけながら癒されることを切に願います。

容疑者の卑劣な行為は、いかなる理由があるにせよ決して許すことはできません。一方で、なぜこのような事件が障害者入所施設で起こってしまったのか、戸惑いと疑念が晴れません。こうした事件を二度とくり返さないためにも、事件の背景や真相が究明されることを願います。

なお、報道によると容疑者には入院歴があったとされていますが、今後、精神障害に対する誤った認識や差別が助長されないよう、各機関には慎重な対応を求めます。

最後に、本事件の報道に触れて、全国の障害のある当事者、その家族、関係者には動揺と不安が広がっています。障害のある当事者と家族のみなさんには、できるかぎり冷静さを失うことなく、普段どおりの生活を送られることを呼びかけます。あわせて、関係者のみなさんには、障害のある人とその家族の気持ちに寄りそい、個々に応じた特別な支援・援助を行なっていくことを呼びかけます。

(諸外国からのメッセージ)

【アメリカ】

※ 大使館による仮訳。原文は英語です

米国政府は、本日(日本時間7月26日)神奈川県相模原市で発生した凶悪な殺傷事件で亡くなった方々のご家族およびご友人に対し、心から哀悼の意を表します。また、負傷された多くの方々が、一日も早く回復されることを祈っております。このような暴力は、いかなる理由があっても決して許されるものではありません。しかし、今回の襲撃が障害者施設で起きたという事実から、この事件は一層忌まわしく、無分別なものといえます。米国民は日本の友人の皆さんと共に、被害者のご冥福を心よりお祈りいたします。

【フランス】

※ 大使館による仮訳。原文はフランス語です

我々は相模原市の障害者施設で発生した殺傷事件の深刻な被害状況を知り、衝撃を受けました。我々は犠牲者のご家族に哀悼の意を表します。この試練において、フランスは日本の当局および国民に対して連帯の念を表明します。

## 5 とても気がかりなこと

正直なところ気がかりなことだらけですが、今の時点でとても気がかりなことを挙げるとすれば、次のとおりです。

- ★ 事業所のセキュリティを強化するだけで良いのか
- ★ 精神障がいのある人へのいわれなき偏見や攻撃が起きないか
- ★ 知的・発達障がいのある人や家族、援助者として今回の事件に負けないためにはどうしたら良いか → 全育連で仕掛けを考えています

- ★ あれだけの事件があっても津久井やまゆり園を離れることができない人たちがいることをどう考えるか

そして最後に・・・

しつこいようですが  
堂々と生きましよう